

第55回 独立行政法人都市再生機構 契約監視委員会
審議概要

開催日	令和5年3月13日（月）
開催場所	独立行政法人都市再生機構東日本都市再生本部会議室 （対面及びWEB）
出席委員	長沢 美智子（弁護士（東京丸の内法律事務所）） 高木 勇三（公認会計士） 長村 彌角（公認会計士（有限責任監査法人トーマツ）） 鈴木 豊（学校法人青山学院常任監事・青山学院大学名誉教授） 井出 多加子（成蹊大学経済学部現代経済学科教授） 市毛 由美子（弁護士（のぞみ総合法律事務所）） 吉田 滋（都市再生機構監事） 上澤 秀仁（都市再生機構監事）
審議事項等	審議事項 （1）令和4年度3四半期における競争性のない随意契約及び1者応札・1者応募となった契約について （2）「令和4年度調達等合理化計画」第3四半期時点の自己評価案について
審議概要等	別紙のとおり なお、意見・質問欄には各委員からの発言要旨を記載しており、委員会としての意見等を記載しているものではない。

(別紙)

意見・質問	説明・回答
審議事項1 令和4年度第3四半期における競争性のない随意契約及び1者応札・1者応募となった契約について	
<p>○団地内一般清掃について、業務の品質が悪いとすぐに居住者からも連絡が入ることであるが、通報窓口体制はどのようなになっているのか。</p> <p>○建設コンサルタント業務（調査・検討業務）について、「専門性の高い技術者を安定的に確保することが困難である。」とあるが、その技術者と有効求人倍率にある建築・土木・測量技術者は定義は同じか。</p> <p>○確認公募について、今後増える可能性があるのか、どのような状況で広げていくか等、プロセスの検証を試行導入の中でしっかり行ってほしい。</p> <p>○今回は1者応札・応募が増加傾向にある団地内一般清掃と建設コンサルタント業務（調査・検討業務）について、事業者ヒアリングの結果が報告され、例えば夏季における清掃業務の大変さ等、業務の実態が示されてわかりやすかった。このようなヒアリングはまた実施して欲しい。</p>	<ul style="list-style-type: none">・一定規模以上の団地には管理サービス事務所がある。管理サービス事務所がない団地も拠点窓口として住まいセンターに連絡できる。夜間・休日は緊急事故受付センターに連絡できる。現場の清掃スタッフに声をかけてもらうこともある。・発注時に、業務内容に応じてさらに専門性のある技術者の配置を求めている。建築士や技術士などの資格や経験年数など。統計データの定義とは必ずしも一致しない。・評価検証を行っていききたい。
<p>【委員会意見】 特段の意見はなかった。</p>	

審議事項2 「令和4年度調達等合理化計画」第3四半期時点の自己評価案について	
○談合疑義案件が発生した場合、どのようなルートで談合疑義を認識するのか。	近年は発生していないが、過去の例によると外部からの通報がきっかけとなる。

意見・質問	説明・回答
<p>○工事等の落札結果のモニタリングにおいて「落札結果に特異な状況にあるものをすべて抽出」とあるが、モニタリングでは談合疑義を認識したものはなかったということか。</p> <p>○週休2日促進工事について、「原則実施した」と記載され、A評価となっているが、もう少し具体的に書けないか。例えば過年度との比較や他機関との比較など。実施したということだけでA評価になったように見える。件数などボリュームを記載すると、Aと明確に表現できると思う。ボリューム感の記載をお願いしたい。「当初計画に加えて更に」など、Aだと明確にわかるように表現を工夫してはどうか。</p> <p>○入札不調・不落を抑制する取組の項目について、入札不調・不落率は上昇しているが、B評価としている。Bの判断基準はどこに置いているのか。</p> <p>○他機関との比較はできないか。手段さえ講じれば入札不調・不落率が悪くても仕方ないとも見える。今後の計画でも掲げる項目だとすると、今後より顕著にそのように見えてしまう可能性がある。「複数の取組を実施したにもかかわらず、入札不調・不落率が上がってしまった」、「世界情勢による物価高・原油高など外的な要因」等を記載してはどうか。現在の記載方法では機構として入札不調・不落をどのように捉えているか見えない。</p>	<p>・そのとおり。落札率を基に確認をしている。</p> <p>・最終的な自己評価時に表現を工夫して補強したい。</p> <p>・入札不調・不落率は外部環境に左右されやすく機構の努力だけでは抑制できないため、計数目標とすることは難しい。よって、不調不落を抑制する取組に計数目標を置いている。</p> <p>・他機関が数値を公表していれば次回の委員会で紹介したい。また、入札不調・不落率を機構としてどのように捉えているかについて、最終的な自己評価時に表現を工夫して補強したい。</p>
<p>【委員会意見】 特段の意見はなかった。</p>	